

伊東達夫教授 略歴および著作目録

略 歴

1950年10月6日生まれ

〈学歴〉

1981年3月 明治大学大学院政治経済学研究科経済学専攻博士課程単位取得満期退学,
経済学修士

〈職歴〉

1981年4月 和光大学経済学部経済学科専任講師（1984年3月まで）
1984年4月 和光大学経済学部経済学科助教授（1994年3月まで）
1994年4月 和光大学経済学部経済学科教授
2004年4月 学部改組に伴い、経済経営学部経済学科教授
2009年12月 和光大学学長（2017年12月まで）

〈学会および社会における活動〉

経済学史学会会員
日本18世紀学会会員
日仏経済学会会員
18世紀スコットランド研究学会（アメリカ）会員
日本スコットランド協会会員
社会思想史学会会員
アジア市場経済学会会員（2013年8月から理事，2015年7月まで）
日本地方自治研究学会会員（2012年9月から常任理事，現在に至る）
和光学園評議員（1982年11月より2017年12月まで）
和光学園理事（2009年4月より2017年12月まで）

著 作 目 録

1. 著書

書 名	発 行 所	発行年
『ミル・マルクスとその時代—和光大学経済学部創立20周年記念号—』 (共著) 担当「J. S. ミルにおける経済学の方法について」	白桃書房	1986年
『マーシャルとその時代—和光大学経済学部創立25周年記念号—』(共著) 担当「マーシャルの『経済学の歴史』」	白桃書房	1991年
『ケインズ・バーナードとその時代—和光大学経済学部創立30周年記念号—』 (共著) 担当「ケインズの重商主義観」	白桃書房	1996年
『シュムペーター・サイモンとその時代—和光大学経済学部創立35周年記念号—』 (共著) 担当「シュムペーターの『経済学の歴史』について」	白桃書房	2001年
『サミュエルソン・ドラッカーとその時代—和光大学経済学部創立40周年記念号—』 (共著) 担当「サムエルソン『経済学』における『経済学説の進化』」	白桃書房	2006年
『17歳からはじめる経済・経営学のスズメ』(共著) 担当「経済学, その人間的部分—古典と現代—経済学って意外と人間的」	日本評論社	2016年
『現代に問う経済のあり方, 経営のあり方』(共著) 和光大学経済経営学部創立55周年記念誌(研究論文編) 担当「アダム・ファーフガソンの『市民社会』についての一考察」	創成社	2021年

2. 翻訳

書 名	発 行 所	発行年
F. ツォイテン著『経済学の理論と方法』(共訳) 水上健造・伊東達夫	文化書房博文社	2009年

3. 論文

論文名	掲載誌	巻号数	発行年
アダム・スミスにおける「自由」と「平等」の理念について	和光経済	第14巻第1号	1982年
フランシス・ハチスンの経済思想	和光経済	第15巻第2号	1983年
フランソワ・ケネーにおける「自然法」概観	和光経済	第16巻第2号	1984年
アダム・スミスの「生産的労働」小論	和光経済	第17巻第2・3号	1985年
アダム・スミスの「経済人」について	和光経済	第20巻第3号	1988年
スコットランド啓蒙とアダム・ファーガスン	和光経済	第21巻第1・2号	1989年
経済学史研究のための覚え書—その意義と方法について—	和光経済	第21巻第1・2号	1989年
マルサスの自然法について	和光経済	第24巻第2・3号	1992年
アダム・スミスにおける重商主義	和光経済	第25巻第3号	1993年
アダム・スミスの社会秩序について	和光経済	第26巻第2号	1993年
アダム・スミスにおける自由放任論	和光経済	第27巻第2号	1995年
アダム・スミスの市民社会形成について	和光経済	第30巻第1号	1997年
日本の財政破綻の危機と経済学（共著）伊東達夫・綿引弘・山田久	東西南北：和光大学総合文化研究所年報	(2006年号)	2006年

4. その他

題名	掲載誌	巻号数	発行年
(翻訳資料) アダム・スミス『天文学史』	和光経済	第14巻第2号	1982年
想い出・越村信三郎先生	和光経済	第22巻第1号	1989年
「経済学史」の授業方法に関わって	和光経済	第36巻第3号	2004年
藤井清先生の思い出	和光経済	第45巻第1号	2012年
葉山先生のお人柄に触れて	和光経済	第52巻第1号	2019年